

# IR(特定観光複合施設)誘致に関する 皆さんのご意見などを紹介します

## IRへの心配や疑問に関するご意見

- 佐世保や長崎の発展を期待していますが、一方でギャンブル等依存症の懸念もあるため、しっかりと対策を取って情報発信していくことが大切だと思います(30代)
- 国内外から人が集まれば、治安が悪くなると思います。デメリットに対する対処法の案を教えてください(60代)
- 近隣住民ですが、交通手段や駅からの移動が少し心配です。今後バスや専用の移動手段などは考えられているのでしょうか。もし計画であれば、近隣の人でも利用できるのかを知りたいです。ハウステンボスの美しい景色を守りながら、充実した施設ができることを願っています(60代)

### 安全安心なまちづくりの実現を目指して

期待の声がある一方で、ギャンブル等依存症や治安維持対策、交通アクセスなどに対して心配や疑問の声も寄せられました。

特にギャンブル等依存症対策などについては、下図のとおり国のルールや事業者独自の対策を講じていきます。加えて、行政でも専門医療機関や保健所等とのネットワーク構築や警察職員の増員、CAIJと連携した防犯灯・防犯カメラの設置検討などに取り組みます。

また、「九州・長崎IR」独自の取り組みとして、周辺地域の地区自治協議会や依存症対策の専門家、教育機関、警察などで構成する「九州・長崎IR安全安心ネットワーク協議会準備会」を設置し、検討を進めながらIRを契機とした安全安心なまちづくりの実現を目指しています。

### 皆さんの暮らしを維持しながらさらなる発展を

交通面についても、現在さまざまな交通手段を検討しています。例えば、長崎空港の国際線・国内線の増便や長崎空港からの積極的な海路の利用、JRや高速バスなどの公共交通の増便、西九州自動車道や国道等の拡幅、交差点改良等による周辺道路の渋滞対策など、本市を訪れる人だけでなく、近隣で生活する人たちも利用できるように、皆さんの暮らしを維持しながら取り組みを進めていきます。

このように懸念事項対策や交通対策など生活に身近な問題については引き続き情報発信に努め、皆さんの理解を求めていきたいと考えています。

本市では、さまざまなご意見をしっかりと受け止め、佐世保が発展できる魅力的なIRの実現に向けて取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。

### 依存症対策

#### 国の対策

- マイナンバーカードによる本人確認
- 入場回数の制限(7日間で3回、28日間で10回)
- 入場料の徴収(1回当たり6千円) など

#### 事業者の対策

- 24時間365日利用できる相談センターの設置
- 滞在時間の上限設定 など

### 青少年の健全育成

#### 国の対策

- 20歳未満の入場禁止
- 広告や勧誘の制限(IR区域外での広告禁止等) など

#### 事業者の対策

- 青少年や新成人向けの依存症リスクの理解促進
- 未成年者のカジノ立入禁止や年齢確認の徹底
- 教育機関との連携(講話や講演の開催) など

### 治安維持対策

#### 国の対策

- 暴力団関係者の入場制限
- 犯罪発生の予防

#### 事業者の対策

- 警察や関係団体との密接な連携
- 顔認証システム等を利用した防犯体制の確立 など

### 犯罪防止対策

#### 国の対策

- 事業者の廉潔性の確保(免許制、背面調査)
- 犯罪発生の予防(疑わしい取引は国への届け出義務)

#### 事業者の対策

- 救護センター、カジノ警備、監視部門の設置
- 専門警備会社による総合的な警備 など

## IRへの期待に関するご意見

- 「IR=カジノ」のイメージがありましたが、IRにはさまざまな施設があり、国際色豊かなまちになると思います(70代)
- 多様な雇用が創出されるとのことで、ぜひ孫にも関連事業で働いてもらいたいです(70代)
- IR誘致がもたらす6つの効果を実現してほしいです。交流人口が増え、観光が活性化すれば、地元企業も元気になると思います(60代)
- IRで「地元調達100%」を目指していることを初めて知りました。地元活性化につながり、とても良い案だと思います(20代)
- 雇用拡大や地域活性化によって、特に若い人が佐世保に魅力を感じて就職し、人口流出がなくなればいいですね。そして、若い人のパワーや発想を生かしてSNSなどで佐世保の魅力を世界に発信してくれることを期待します(50代)

### 97%がカジノ以外の施設で構成されるIR

IR誘致の取り組みに対して、皆さんからたくさんのご意見や感想をいただきました。その中で、IRの97%がカジノ以外の施設で構成されていることを今回初めて知ったという方が多くいらっしゃいました。

CAIJは日本の魅力を発信するエンターテインメント施設や世界の国際会議が誘致できるMICE、高級ホテル、大型ショッピングセンター、医療モールなどの設置を予定しており、ビジネス客から家族連れまで、子どもも大人も楽しめる場所になることを目指しています。

また、「ウィーン少年合唱団」や「ウィーンフィルハーモニー」など海外一流楽団の誘致や国際的アートフェア、世界的なファッションイベントなどの開催も検討されており、本市としても国際色豊かな風土を生かし、ハウステンボスとの相乗効果で今後「ヨーロッパ文化の発信地」にもなることを期待しています。

### 「ずっと暮らし続けたい」と思えるまちを目指して

IR誘致がもたらす6つの効果(多様な雇用の創出、定住人口の増加、交流人口の増加、地域経済の活性化、農水産

業の活性化、財政基盤の強化)に期待する声も多く寄せられました。

特に「多様な雇用の創出」に関しては、海外のIRで900種以上もの職種があるとされており、九州・長崎IRではIR区域内の直接雇用で1万人、九州内の雇用誘発効果は3万人を見込んでいます。

今後IRによってグローバルな国際観光人材が求められ、これまでになかった英語力を生かした「ホテルコンシェルジュ」や「イベントプランナー」などの新しい職種や雇用が生まれることが期待でき、これらは若者の市内就職やUJIターンの促進にもつながると考えています。

さらに、CAIJは「地元調達100%」を目標に掲げ、地域の経済活性化に力を入れていくと述べられており、IRの実現は地元企業にとっても大きなビジネスチャンスです。

ご意見にもあるように、本市では若者の人口流出を防ぎ、人口減少などの課題を解決するため、IRの実現を目指しています。未来を担う子どもたちが「ずっと暮らし続けたい」と思える佐世保であるように、これからもIRの実現に向けて取り組んでいきます。



事業予定者が提案した九州・長崎IRのイメージ(令和3年12月時点)



ショッピングモール(左)とコンサートホール(右)のイメージ